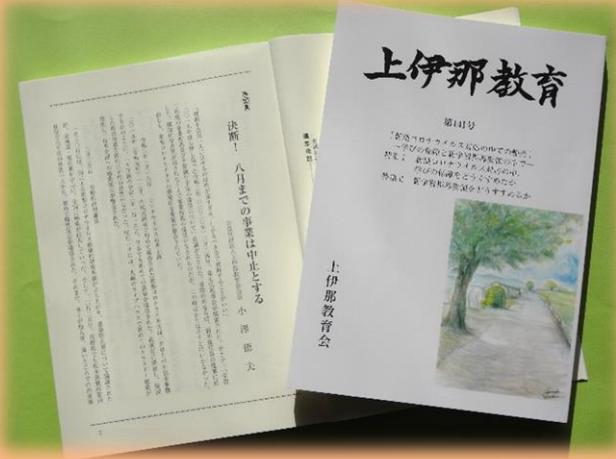


令和2年10月9日発行

雑誌「上伊那教育」141号

「新型コロナウイルス対応の中での船出」
～学びの保障と新学習指導要領の中で～
特集Ⅰ 新型コロナウイルス対応の中、
学びの保障をどのようにすすめたか
特集Ⅱ 新学習指導要領をどうすすめるか



会員の声から

発行：公益社団法人 上伊那教育会
編集：上伊那教育編集委員会

2020.11.12

雑誌「上伊那教育」141号発行に際しまして、原稿をお寄せいただきました会員の皆様、心より感謝申し上げます。おかげさまで、コロナ禍の中にあつて、上伊那の力強さを感じ、未来を明るく拓く、会員手作りの「上伊那教育」となりました。

お読みいただき、たくさんの感想をお寄せくださった会員の皆様、本当にありがとうございました。皆様の心のこもった一つ一つの声に、会員同士の強い絆を感じ、勇気と大きな力をいただきました。

以下に会員の皆様の声をいくつか載せますので、ご覧ください。

◇特集Ⅰ

新型コロナウイルス対応の中、 学びの保障をどうすすめたか

・こんなにタイムリーな話題！大変読み応えがありました。各校の実践、大変勉強になりました。

・それぞれの学校が、緊急事態と向き合い、子どもたちの学びを止めないために、知恵を出し合い工夫して取り組んでいる様子が手に取るように伝わってきました。学校ごとの取り組みですが、一丸となって前進しようとしている上伊那の力強さを感じました。

・全国的なコロナ禍の中、子ども達の学びを止めない為の各先生方のご努力、この逆境を逆手にとって教員としての資質向上を図る先生方の取り組みに感心させられました。それぞれの先生方の文章からは今の状況を悲観的にとらえるのではなく、今までの自分自身の教師としてのあり方を見直す機会とし、前に進んで行こうという気概が感じられました。

・コロナの中で、一生懸命目の前の子どもたちのために試行錯誤される先生方の姿に胸打たれ、また勇気と元気をもらいました。

・コロナ禍の中、みんなで知恵を出し合いながら、やらないのではなく、どうしたらできるかを考えて実践されていることに拍手です。

・今年度は、とにかくコロナウイルスに振り回された1年間でした。そのため、それに関する取り組みや実践が多く、とても参考になりました。

・本校職員や関わりのある先生方が多く、いつもよりしっかり読むことができました。

・近隣の学校の取り組みがたくさん掲載されており、とても参考になりました。

・他校のコロナ対応、とても参考になりました。その時その時の大切な取り組みを知れて良かったです。

・2月27日の一斉休校の要請後、各学校で「子どもたちのために」先生方が考え、実践していることがわかりました。

・コロナ禍での箕輪中の記事、興味深く読ませていただきました。予想のできないことが起こるとき、職員のチーム力が問われるなあと感じました。普段から、職員で声を掛け合って（違う学年とも）急な対応が必要なときに、みんなで 私たちはやれる！とはっきり言えるチームになっていきたいです。

・コロナ禍で、あれもこれもできない・・・とできないことばかりに目が向いてしまう中、先生方の工夫や実践を読み、自分も何かやってみたいという気持ちになった。

・熱心な先生方の記事が多い中、養護の先生の記事には、そんな熱心な先生方を心配する気持ちや日頃の悩みが書かれていて読み入ってしま

った。「保健室」が頑張る先生方の休養所になれているのか、子どもが本音で話せる場所になれているのか、コロナに対しての手洗い、三密を指導する場所になれているのか…養護教諭として悩むこと、不安なことばかりの中、記事を書かれた先生のように、やれることをやっていく姿勢を大切にしたいと思った。（養護教諭より）

- ・一人一人の教師が教育を支えていると感じました。

- ・臨時休校中に上伊那のそれぞれの学校・先生方が、子どもたちのために自主的な研修を進めたことがよくわかる内容となっていて、素晴らしい取り組みだと思うと同時に、とても勉強になった。

- ・地道な実践の積み重ねを丁寧に表現されていてとても勉強になる。今回のコロナの中での先生方の取り組みが素晴らしいと思った。

- ・先生方の教育実践やコロナ禍での学びの保障について知ることができ、大変参考になります。読み応えのある内容になっていると思います。

- ・今回はコロナの影響で、なかなか外で研修する機会がないので、先生方の実践を勉強させていただく貴重な場となりました。

- ・コロナ禍でICTの充実した学校の様子がわかり、うらやましく思った。

- ・本年度は新型コロナウイルスへの対応で、歴史的な学校生活を余儀なくされた年であったので、その時私たちはどのように悩みながら教育実践を行ったのか後世に残す意味で特集Ⅰは読ませていただきました。

- ・今年ならではのコロナ対応の特集がよかった。それぞれの学校での工夫を感じることができ、みんな頑張っているという気持ちになった。

- ・新型コロナウイルスの対応を扱ったことが良かったです。各学年の取り組み実践の日課のやり取りを始め、教師や子どもたちの心境の変化など、どこも同じだったのだと共感するものがありました。

- ・各校、各先生方の取り組みが大変参考になり、また「同じようにがんばっているんだ」と力をもらえるものでした。

- ・各校のコロナへの緊急対応や学区生活の様子を知ることができ、この一冊に目を通すことで改めて仲間意識を持てた気がします。今回は原稿を集めることが困難なのではないかと心配していたのですが、ぶ厚い今号が届い

て大変驚きました。私も原稿を寄せた一人ですが、上伊那のパワーを感じています。大変参考になりました。

- ・上伊那でこんなにも様々な取り組みがなされていたことを始めて知り、大変勉強させていただきました。

- ・各校の様々な取り組みの多様さにコロナ禍からも多くの学びがあると感じました。

- ・どのソフトでどのアプリで、ということも具体的に書かれていたのでICTという面でも大変勉強になりました。

- ・先生方のコロナ禍での対応や大変さを「そうそう、あるある」と感じながら読ませていただきました。

- ・新型コロナウイルス、新学習指導要領に関する多くの実践、日常的に生かせると思いながら読ませていただきました。

- ・どんな状況でも「子どもたちのために」という思いで取り組んできた実践はとても勉強になりました。

- ・本年度はコロナ禍の中での教育実践例が数多く紹介されていて、先生方が創意工夫された学びを参考にすることができた。「できない」ではなく「できるためにどうするか」をこれからも大切にしていきたいと思う。

- ・誰もが手探りの中、工夫し、奮闘しながら「学びの保障」のために取り組んできた実践からは、上伊那の仲間の先生方の子供達への温かい心と教育実践への情熱を感じました。

- ・北澤志保教諭の「前向きは休校期間に！」を読んで、コロナ禍をマイナスにとらえるのではなく、プラスにとらえて子どもたちに伝えていく必要があると感じました。



◇特集Ⅱ

新学習指導要領をどうすすめるか

- ・新学習指導要領が実施となってどのような実践が行われ始めているか大変勉強になりました。

- ・「新学習指導要領をどうすすめるか」はタイムリーの企画だった

・新学習指導要領をどうすすめるかでは、総合的な時間の今後の在り方として、単に宿泊学習などの行事を当てはめていくのではなく、各校特色ある内容であったのがとても興味を持ってました。

・主体的、対話的で深い学びについて、教材の視点から実践をされているのがとても勉強になりました。

・自分が総合を一生懸命やっていた時の熱い思いを思い出しました。読んでいて楽しくなりました。

・上條先生の「子どもと教師が共に、学びを深めていく総合的な学習」の実践は、総合的な学習を進めていく上で大変勉強になりました。上條先生が「おわりに」の項で、「総合的な学習の時間は、考える学習ではなく、共に活動し学びを深めていく学習だと改めて感じた。」と綴っています。上條先生が子どもと共に、地域教材としての「合鴨」や「黄金のコメ」の活動一つ一つにこだわりを持ち、材と真剣に向き合った1年間のドラマが、実践の中に語られていました。まさに子ども達が課題解決に向き続けた実践だったと言えるでしょう。私も、こうした実践のように、「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくりに取り組んでいきたいと思った。

・総合的な学習の実践報告の中で、とても深い実践（中川西小）に、考えさせられるものがあった。総合的な学習の時間は何を目的とし、どんな子供の育ちを求めていけばよいのか、何が大事なのか、そして教師は子どもたちにどう寄り添えばよいかを考えるよい機会となった。

・地域教材をご自身で教材研究されている小宮山先生の記事や日頃の姿からも学ばせてもらっている。

・「今こそ中核活動！総合！」細田茂樹先生の文章を読み、それぞれの学校でその知己に根ざした取り組みをされていることに感心しました。特に高遠中学校時代のものは興味深く読ませていただきました。観桜期に売られる石工まんじゅうのルーツを知りました。

◇その他のコーナー

・「リレーエッセイ」はこのコロナ禍の中、先生方がそれぞれ充実した時間を過ごされていることが分かった。

・「遠くの空から～郡外だより」「リレーエッセイ」は面白い企画だと思います。

・「遠くの空から～郡外だより」はベテランの先生その年代の苦労が垣間見れたり、「新風」はタイトルにふさわしく上伊那に来て教育や子どもへの思いが強く書かれている。

・「遠くの空から～郡外だより」に寄稿していただいた先生方は、赴いた学校での学校・教育・地域のすばらしさを紹介してくださっていました。また上伊那への思いも感じられる内容が書かれており、勉強になるとともに、「また一緒に上伊那で頑張りましょう」という思いになりました。

・さわやかな表紙が素敵でした。

・中川村キャリア教育フォーラムの様子「継ぐ37」が大変よかったです。

・ティータイムのコーナーはとても好きです。いろいろな先生方の趣味や特技を知り、参考にしたいと思います。

